



AS2 トレーラー/ジョガー

ユーザー・マニュアル



製品の登録

ご購入いただいた製品を必ずallensportsusa.com で登録してください。これにより、製品保証を受けることが可能になり、製品に関する重要な通知を受けることができます。

目次



AS2 トレーラー/ ジョガー・ユーザー・マニュアル

本ユーザー・マニュアルをいつでも参照できるように保管してください。

セクション	ページ
1.重要な安全情報	4
2.パーツ・リスト	6
3.特長	6
4.組立説明	7
4.1 トレーラーのカートンからの取り出し	7
4.2 トレーラーを開く	7
4.3 牽引棒のリリース	8
4.4 ホイールの取り付け	8
4.5 パーキングブレーキの使用	9
4.6 Four-Season Cover の取り付け	10
4.7 安全フラグの設置	11
4.8 トレーラー・ヒッチのバイクへの取り付け	11
4.9 トレーラーのバイクへの取り付け	12
4.10 ストローラーへのコンバージョン	13
5.操作説明	15
5.1 5ポイント安全ハーネスの使用	15
5.2 保管および輸送時の折り畳み	15
6.メンテナンス	16
7.保証	16

組立の前

本オーナーズ・マニュアルをしっかりと読解したうえで本製品の組立または操作を行ってください。

本製品は大人の方が組み立ててください。

1.重要な安全情報

注意 ⚠

取扱マニュアルおよび安全上の危険ラベルを全て理解でトレーラーをお使いください。

重要 ⚠

トレーラーとして使用する際、同乗者および運転者は必ず、サイズの合った、承認されたサイクリング用ヘルメットを着用してください。国によってはヘルメット着用は法的義務となっています。

警告 ⚠

- 12か月未満の子供は利用できません
- 子供はヘルメット着用にて頭を高く上げられるようにしてください
- 子供は5ポイント安全ハーネスを必ず使用してくださいAS2 をトレーラーとして使用する際、運転者は必ずヘルメットを着用してください
- 子供を乗せたままその場を離れないでください
- 必ず安全乗車を心掛けてください
- 総重量は100lbs (45kg) 以下とします
- 最大速度は15mph(時速25km) 以下とし、カーブやでこぼこ道では減速してください
- トレーラーの牽引時は車間を大きくとってください。減速し、停車に要する距離を付加してください。
- いつでも、揺らしたり、跳ねたり、もたれかかったりしないよう子供に指導してください
- トレーラーを一般道路外で使用しないでください。トレーラーの損傷および同乗者の重大なケガにつながる恐れがあります
- 寒冷、風、雨といった極端な天候下では使用しないでください。同乗者はその時の天候条件に適した服装を心掛けてください。

乗車前の安全点検

- ヒッチ・クランプが緩んでないか点検してください
- ヒッチ安全ストラップが固定されているか点検してください
- シートベルトを締めてください!シートのハーネスを点検して荷物を全て固定してください
- 毎回、バイクとトレーラーの状態を点検したうえで使用してください
- ヘルメットを着用してください!運転者と子供がヘルメットを着用し、しっかり固定されていることを確認してください
- タイヤの空気圧を点検してください。常に35~40 PSI (2.4-2.8kgf/cm²) を維持してください
- トレーラーが取り付けられるバイクは必ず正規のバイク・メカニックが点検したうえで取り付けを行ってください。

安全上のガイドライン

安全第一!毎回、バイクとトレーラー双方の操作状態を点検したうえで使用してください。コンポーネントの破損、不整合、パーツの欠損を発見したら問題を解決したうえで使用してください。

トレーラーの使用時は以下の安全上のガイドラインに従ってください:

- 本トレーラーはオーナーズ・マニュアルの以下のページに記載されている方法による子供と荷物の運搬のみを目的としています。本ガイドラインを順守しない形でのトレーラーの使用は禁じられており、ケガ、ならびにコンポーネント、トレーラー、バイクの損傷につながる恐れがあります。

- 毎回、使用後に製品とパーツを点検してください。トレーラーの適切なメンテナンスは安全性に不可欠です。パーツが破損あるいは誤作動する際は製品を使用しないでください。

- トレーラーの組立時、組立説明通りにホイールが正しく、しっかりと取り付けよう徹底してください。本トレーラーに用いられる種別のホイールに馴染みがない場合、購入店または定評のあるバイク店にて本デバイスの正しい操作の説明を受けてください。タイヤの空気圧を35~40 PSI (2.4-2.8kgf/cm²) にし、毎回、空気圧を点検してから使用してください。空気を入れすぎるとトレーラーが跳ねたり、転覆したりする恐れがあります。ストリート・トレッドのタイヤのみを使用し、BMX またはKnobbyトレッドのものは使用しないでください。

- トレーラーと併用されるバイクがしっかりと整備され、サイクル・トレーラーの牽引にあたって大きさと種別が適切で、ブレーキの反応が良好であることを徹底させてください。バイクのトレーラーとの併用についてのヒントはバイクのオーナーズ・マニュアルを確認してください。自身のバイクがトレーラーとの併用に適した種別かどうかの確認、ならびにバイクやトレーラーの日常のメンテナンスについては、バイク店がサポートしてくれるでしょう。

- トレーラーに過重な荷物を積載しないでください。貨物や同乗者の負荷上限はs100lbs (45kg) です。荷物をできるだけ低い位置でトレーラーの中心部に配置してください(前→後、左→右)。後ろの方向へ付加的なギアを配備してください。ずれないように荷物は全て固定してください。重要: トレーラーに乗る子供には飛び跳ねたり、揺らしたり、もたれかかったりしないよう指示してください。トレーラーが傾いたり、ひっくり返ったりする恐れがあります。

- 目一杯に荷物を積載する場合、ヒッチで測定される引っ張り棒 (Drawbar) 過重は3~8kg となるようにします。このことですが、トレーラーをバイクに取り付ける前に、積載済みのトレーラーの牽引棒を持ち上げることで確認できます。トレーラーへの積載時はパーキングブレーキを必ずかけてください。

- 本トレーナーにその他のシーティング・システムを取り付けしないでください。車のシート、ストローラーのシート、幼児用ベッド、その他の種別のシーティングには対応しません。正規の装置シート以外のシーティング・システムを使用すると保証が無効となり、トレーラーの損傷や同乗者のケガにつながる恐れがあります。

- 本トレーナーを一般道路外で使用しないでください。舗装道路面での使用向けです。それ以外の状況下で使用すると製品の損傷や同乗者のケガにつながる恐れがあります。

- 本トレーナーを引くとバイクの操作がアラートされます。貨物の重量によって、停止、発車、転回が影響を受けます。そうした変化に習熟するには、トレーラーに目いっぱい積載し、安全な場所で実験してください。バイクの操作にどのような影響が及ぶのか習熟してからトレーラーを使用してください。以下を含む、その他の安全上の戦略:

- 優先権が与えられていると思い込まないでください。

- 車両運転者の行動を予測しないでください。

- 高速道路、混み合った街路、安全出ない場所をバイクで通行しないでください。

- 夜間の乗車は控えてください。夜間に乗車する必要がある場合、ライトおよび明るく反射性の衣服を使用してください。夜間に子供と一緒にトレーラーに乗車しないでください。使用前に、地域当局に確認して適切な照明と安全要件を満たして交通法を順守するように心掛けてください。

- トレーラーの横転を防ぐ目的上、カーブや穴ぼこの上を力任せに引っ張ったり、路上の障害物にぶつかったりしないようにしてください。

- トレーラーが転倒する恐れがあるため、急に曲がらないでください。

- 猛スピードで走行しないでください。

- 15 mph (時速25km) を超えないようにし、曲がり角やでこぼこ道では減速してください。速度が出ているとバイク制御や道路のでこぼこを認識する能力が悪影響を被ります。トレーラーの牽引時は車間を大きくしてください。

- 本トレーナーを一般道路外で使用しないでください。舗装面での使用向けです。道路外で使用するとトレーラーの損傷や同乗者のケガにつながる恐れがあります。

子供の安全は非常に重要です。トレーラーのシートは年齢が12か月以上で承認済みのヘルメットを着用する人向けです。子供は頭を上げた状態で乗車する必要があります。子供の発育状態からトレーラーに乗車するのに相応しいかどうか、小児科医に確認してください。ヘルメットは同乗者全員が着用する必要があります。法で義務付けられている場合があります。トレーラーとヘルメットの使用に関する国内や地域の法を確認したうえで操作を行ってください。子供が座席にしっかりと座っていてハーネスが適切にかかっているのを徹底してください。子供の座高は上部クロスバーより低いとし、正確な肩ストラップ高を使用してください。説明書を確認して調節してください。子供がトレーラーに乗車する際は、Four-Season Cover を合わせてください。そうすることで子供を道路の残骸等から保護します。

4.組立説明

4.1 トレーラーの Karton からの取り出し

Karton からトレーラーを取り出し、同梱物をパーツリストを見て比較してください。

警告: プラスチック製の袋や梱包材をすぐに処分してください。

重要: ステップ4.4 まではホイール軸からホワイトフォームを外さないでください。

4.2 トレーラーの展開

フレームを引いてトレーラーを展開し、中から部品を全て取り出します。ウインドウチューブは2つから構成されており、ウインドウフレームのチューブの裏の真ん中にあるスプリングピンで組み合わさっています。組み立てるにはファブリックスリーブを前の方にスライドさせてフレームチューブの端に取り付けます。(図1) 次にチューブの後ろの側をフレームへ取り付け、スプリングピンを押し下げ、チューブを同時に差し込みスプリングピンで固定されるようにします。(図2)

ウインドウ・チューブが組み立てられたら、ファブリックを後にスライドさせて固定し、後部フレーム・チューブを持ち上げてコネクタをウインドウ・チューブの穴に合わせます。(図3 & 4)。Quick-Release ピンを挿入してピンを閉じてロックします。(図5)。フレームが組み立てられた状態です。



図1



図2

2. パーツ・リスト

- (1) フレーム + キャンピー
- (1) スリング・シートおよび5ポイント安全ハーネス
- (1) 牽引棒
- (1) 牽引棒カプラー
- (2) 16" リア・ホイール
- (1) 安全フラグ
- (1) ストローラー・キットおよびハンドルバー、ブラケット、ホイール
- 組立ツール同梱
- ブラケットおよび後部ホイール・ブラケット取付済み

3. 重要な特長

- Quick Assembly、テイクダウン、ストレージ
- 前向きのシーティング
- 5ポイント・シーティング・ハーネスおよびクイック・ロック & リリース
- フル・レインカバーおよびロールアップ・ウインドウ
- クイック・リリース・ホイールおよびカートリッジ・ベアリング
- オプションのストローラー変換キット
- ペットにも適します

サイクル・トレーナーのASTM F1975 規範に準拠
 カートリッジとストローラーのASTM F833 規範に準拠

Mechanicals and Hardgoods Lab 認証。SGS Taiwan Ltd.
 127, Wu Kung Road, Wuku Industrial Zone, Taipei County, Taiwan
 TW-24803 - Taipei
 登録番号:TAF1053

説明書を全て読み、内容をよく確認したうえで組み立ててください。

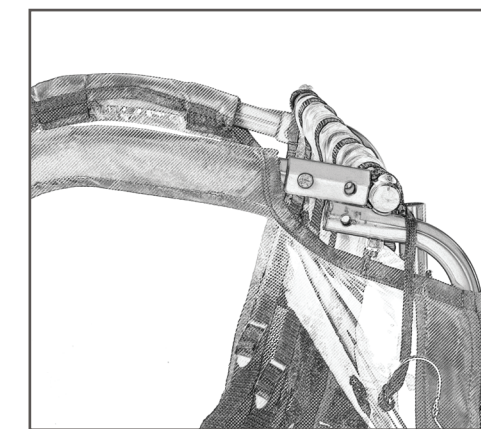


図3

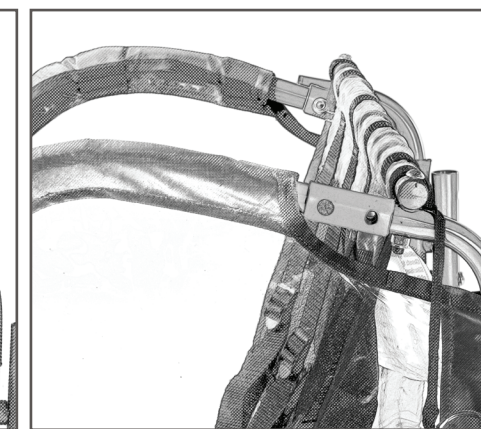


図4

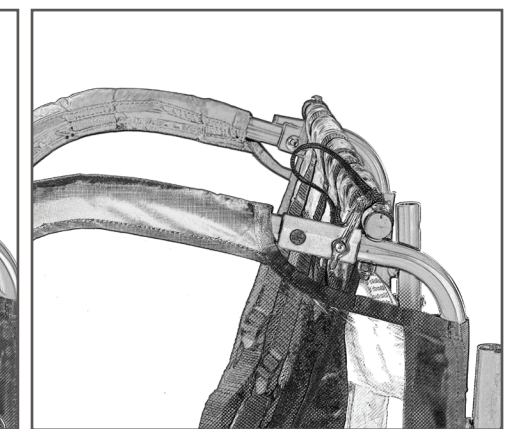


図5

重要: 2つの上部ウインドウ・チューブは同一ではありません。R およびL と表示されており、フレームがロックされるには正しい順序で組み立てる必要があります。トレーラーの安全操作にあたってスプリング・リリース・ピンをはめ込んでください。適切に組み立てないとフレームが破損し、トレーラーの損傷や同乗者のケガにつながる恐れがあります。スプリング・リリース・ピンが正確にはめ込まれていません、使用しないでください。添付文書に記載されているカスタマーサービス番号に電話してお尋ねください。

注記: 本プロセスは初期の組立にのみ必要です。輸送または保管用に折り畳む際、サイド・フレーム・チューブを分解する必要はありません。

4.3 牽引棒のリリース

1. トレーラーをその方向に向け、ヒッチ・アームがトップのエッジと並行になるようにします (図6)
2. 牽引棒ブラケットに牽引棒を固定しているQuick-Release ピンを見つけます。
3. Quick-Release ピンのループを開いてピンを取り外します。
4. ヒッチ・アームがUチャンネルに固定されるまで回転します (図7)。Uチャンネルのフロント穴にピンを再挿入し、スナップ・ピンを閉じ、ピン・ロックのループがピン・シャフトの上にくるようにします (図8)。



図6

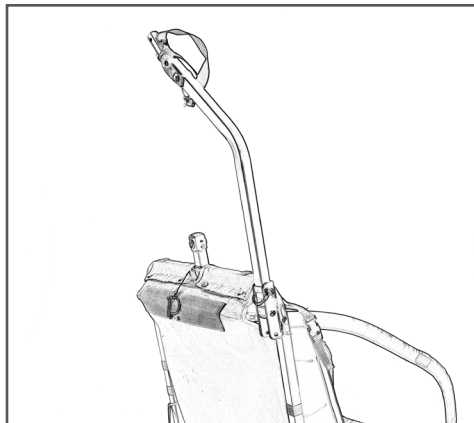


図7

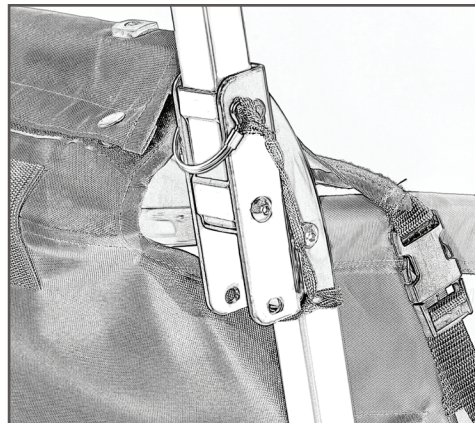


図8

4.4 ホイールの取り付け

1. フォームをホイール軸から取り外してすぐに処分してください。ウォッシャーは取り外さないでください。
2. 穴の横にあるスタブ車軸付きのホイールを左ホイール・ブラケットに取り付けます (図9)。
3. ホイールが使用位置になるよう、スタブ車軸を穴全体にスライドさせます (図10)。
4. トレーラー・フレームを傾け、トレーラーの下側にアクセスできるようにします。ハブ車軸の端に穴を位置させます。
5. (ホイール・ブラケット付近のバイク・フレームに繋がれている) Quick-Release ピンをスタブ車軸の穴に全体にスライドさせ、ピンのシャフトの上の端部につなげます (図11)。その他のホイールについては以上の手順を行います。

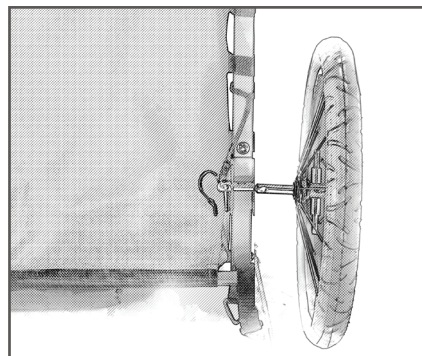


図9

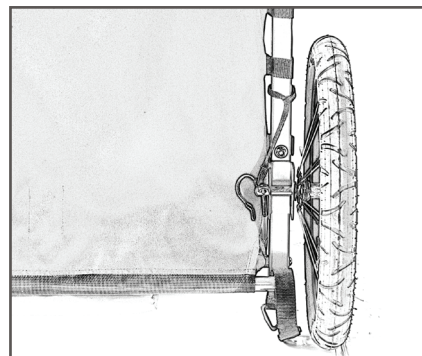


図10

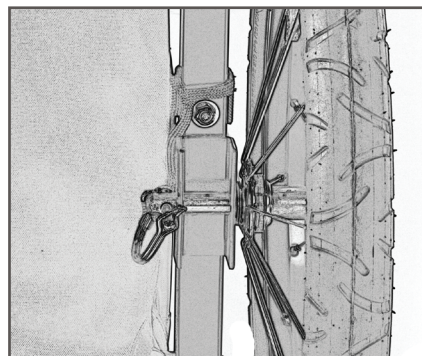


図11

注記: ホイールにはパタンと閉じられたクイック・リリース・ピンを適切に取り付けてください。Quick-Release ピンが正確に取り付けられていないと、ホイールが落下することがあります。Quick-Release ピンが欠落している場合、または、クロージャが損傷したり欠損している場合、使用しないでください。

4.5 パーキングブレーキの使用

トレーラーには、安全強化目的で、ストラップ・パーキングブレーキが搭載されています。トレーラーの荷積みや荷み下ろし、または駐車の際は、パーキングブレーキをかけてトレーラーが移動しないようにしてください。

トレーラーのストラップ・ブレーキは後部ホイールの近くにあります。ブレーキをかけると、ストラップ・ブレーキが車輪に巻き付き (図16)、固定およびロックされます (図17)。安全上、使用しない際は、ストラップをフレームに巻き付け、閉鎖位置に固定してフレームに固定させてください。

重要: トレーラーの積荷や積み下ろしの際は常にブレーキをかけ、ブレーキを解除してから乗車してください。ブレーキがかかった状態で乗車しないでください。



図16



図17

4.6 Four-Season Cover の取り付け

1. ロールアップ・ウィンドウがトレーラーの前面を向いている状態になるよう、Four-Season Cover でトレーラーを覆います (図18)。
2. Velcro 補強固定ストラップを巻き付け、カバーでしっかりとフレームを覆ってください (図19)。
3. カバーの底部の正面にあるVelcro 材料を下方前面ファブリック・パネルにある適合するVelcro 材料に固定させてください。
4. ウィンドウをロールダウンしてD リングに固定させてください (図20)。

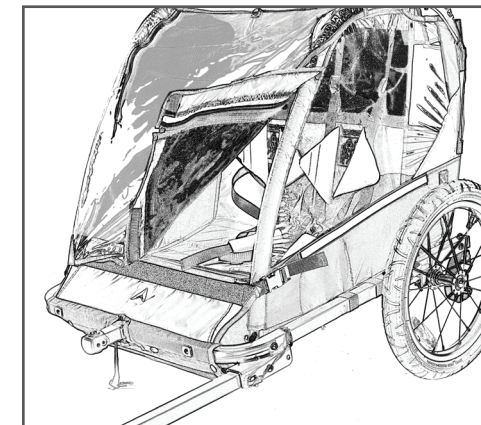


図18



図19

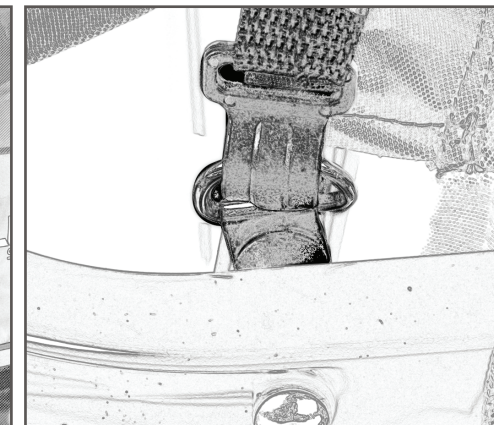


図20

FOUR-SEASON COVER のロールアップ

Four-Season Cover は厳しい天候条件でも同乗者と貨物を湿気の少ない穏やかな状態に保てるよう考案されています。また、同乗者を飛来する残骸から保護します。Four-Season Cover は、暑い天候条件下では、換気強化目的でロールアップ可能です。弾力性のあるクロージャ (図21) は、ロールアップ時、Four-Season Cover を固定します (図22)。

警告: Four-Season Cover なしにトレーラーを使用しないでください。前面ウィンドウまたはバグ・スクリーンを取り付けて子供を飛来物から保護してください。

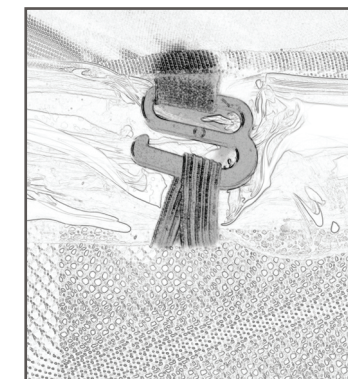


図21

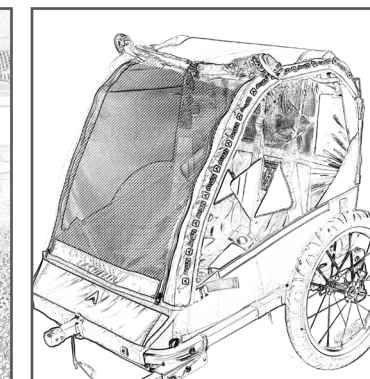


図22

4.7 安全フラグの設置

1. 3点安全フラグを探して組み立ててください。
2. トレーラー・キャビン・ファブリックのフラグ・ポケットを探してフラグをポケットに挿入してください(図23)。
3. フラグを取り外してからトレーラーを折り畳んでください

4.8 トレーラー・ヒッチのバイクへの取り付け

ボルトオンの後部車軸

1. ボルトオンの後部車軸ですが、左サイドの後部車軸を緩めてヒッチがフレームに接合するようにしてください。
2. ヒッチをバイク・フレームの後部車軸上に配置して車軸ナットを置き換えます。バイクの後部面のヒッチ・タブでしっかりと固定し、床面とほぼ並行になるようにしてください(図24)。
3. 特定の車軸ナットが固定されているか確認してください。トレーラー・ヒッチは手動で回転できないものとします。

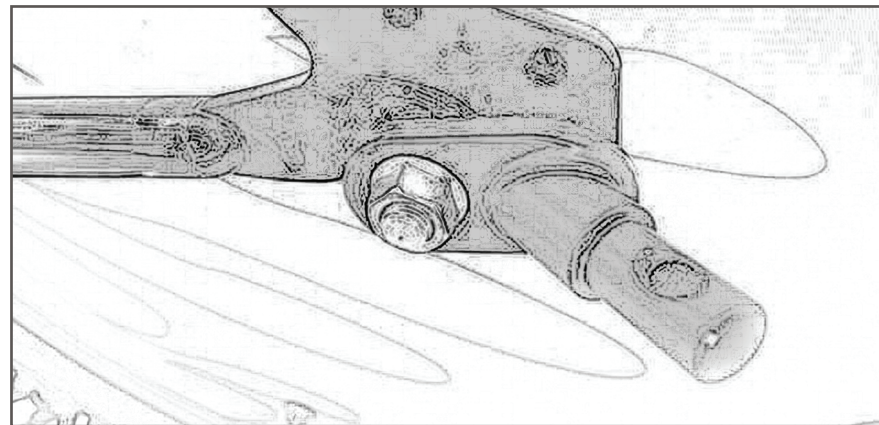


図24

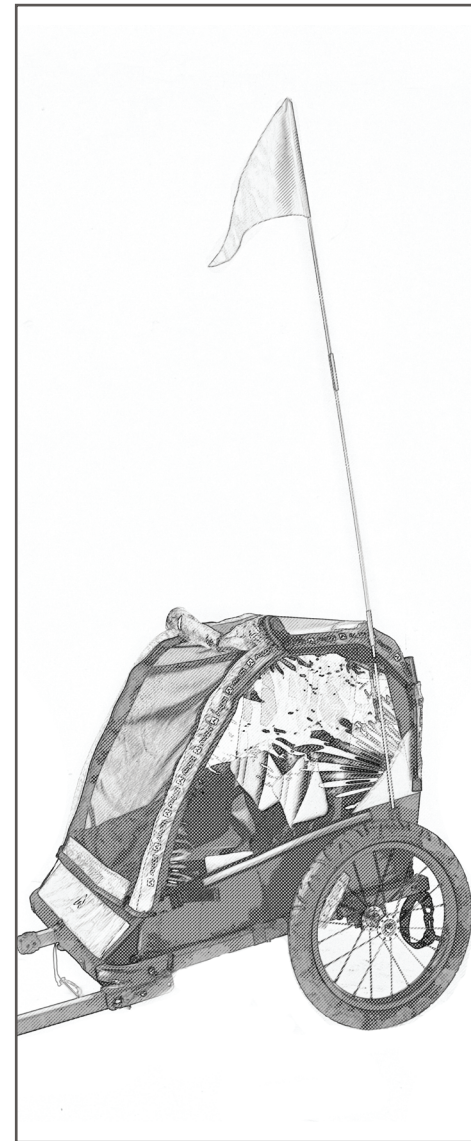


図23

QUICK-RELEASE 車軸

1. Quick-Release 後部ホイールですが、レバーを緩め、Quick-Release スクエアを取り外します。ホイールは取り外さないでください。
2. ヒッチをスクエア上でスライドさせ、傾斜タブが外側に向くようにし、スクエアを車軸に再度取り付け、ヒッチ・タブがバイクの後部を向くようにし、床面にほぼ並行となるように配置してください(図25)。
3. Quick-Release 車軸を締めて特定のホイールとヒッチを固定してください。トレーラー・ヒッチは手動で回転できないものとします。閉鎖位置で、Quick-Release 車軸がきつく締まりすぎたり、緩みすぎたりしている場合、レバーを開けてナットを締めるか緩めるかして車軸がしっかりと締まっているように徹底してください。

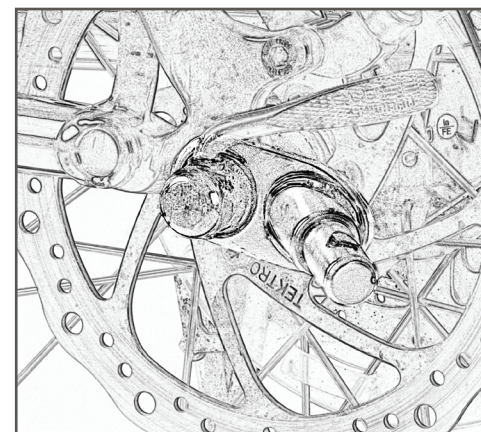


図25

警告: 安全上、Quick-Release 車軸が正しく使用されていることが必要です。そうでないと、ホイールが落下したり緩んだりして事故やケガにつながります。Quick-Release 車軸の操作に不慣れな場合、バイクのプロフェッショナルにガイダンスや指示を仰いでください。

4.9 トレーラーのバイクへの取り付け

1. トレーラーの牽引アームをバイク・フレームのトレーラー・ヒッチに合わせて配置してください。牽引アーム・フレックス・カプラーをトレーラー・ヒッチ上でスライドさせ、牽引アームの穴をヒッチの穴に合わせてください(図26)。
2. Quick-Release ピンを牽引アームとヒッチに挿入し、ピンを締めてロックしてください(図27)。
3. 安全ストラップをフレームのチェーンステイに通し、ブレーキ等に干渉しないよう注意してください。可動コンポーネントDリングを牽引アームに固定します(図28)。

警告: 本製品をトレーラー・モードで使用する際は、安全ストラップをバイク・フレームに取り付けてください。

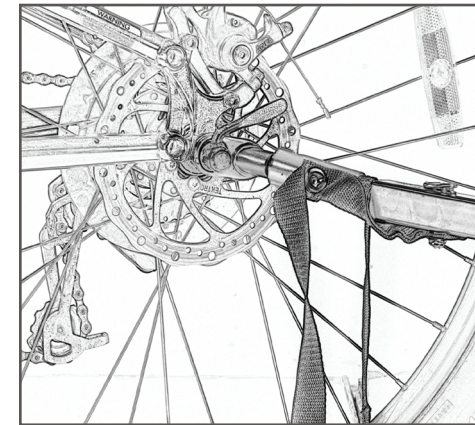


図26

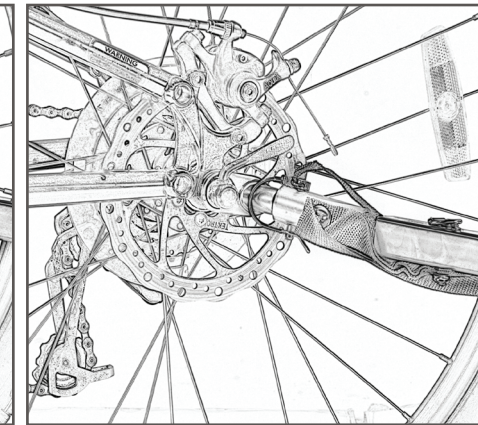


図27

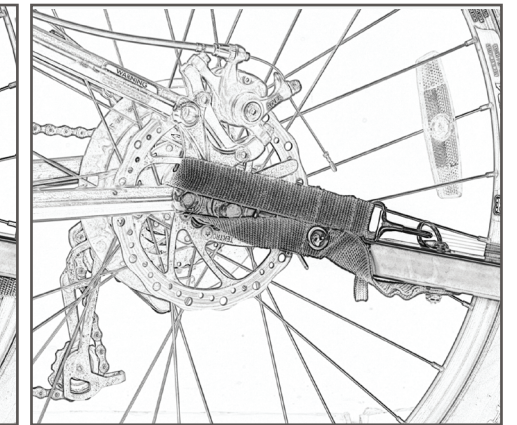


図28

バイクからのトレーラーの取り外し

1. バイクからトレーラーを取り外すには、上のように、安全ストラップをリリースします。
2. ヒッチ・アームをブラック・ヒッチにつなげているチューブからQuick-Release ピンを取り外します。
3. ヒッチ・アームを引き寄せ、バイクに残っているブラック・ヒッチからトレーラーをリリースします。

注記: 便宜上、複数台のバイクにトレーラーを取り付けやすいよう、追加のヒッチ・エンドを購入することができます。詳細は小売店に確認してください。

4.10 ストローラーへのコンバージョン

トレーラーには、状況に応じてストローラーに容易に変換できるよう、ストローラー・キットが付属されています。希望するところに子供をトレーラーに乗せて移動するのは素晴らしいことですが、ストローラーに手軽に変換できれば、目的先に到着時、選択肢は増えるでしょう。公園や海辺に向かい、瞬時にストローラーに変換すれば、買い物、ハイキング、散策などのニーズにぴったりとなります。コンバージョンには時間が掛かるものの、快適なハンドルバー、ショート・ホイールベース、スイベル・ホイールのおかげで子供を運ぶのがスムーズかつ容易になります。言うまでもなく、5ポイント・ハーネスが引き続き、子供をストローラーに固定させてくれます。

パーツ・リスト

- (1) ハンドルバー
- (1) 安全リスト・ストラップ
- (1) 前面スイベル・ホイール & フォーク・アセンブリ
- (1) スイベル・ホイール・マウンティング・ブラケットおよびハードウェア
- (1) Quick-Release ピンおよびストラップ

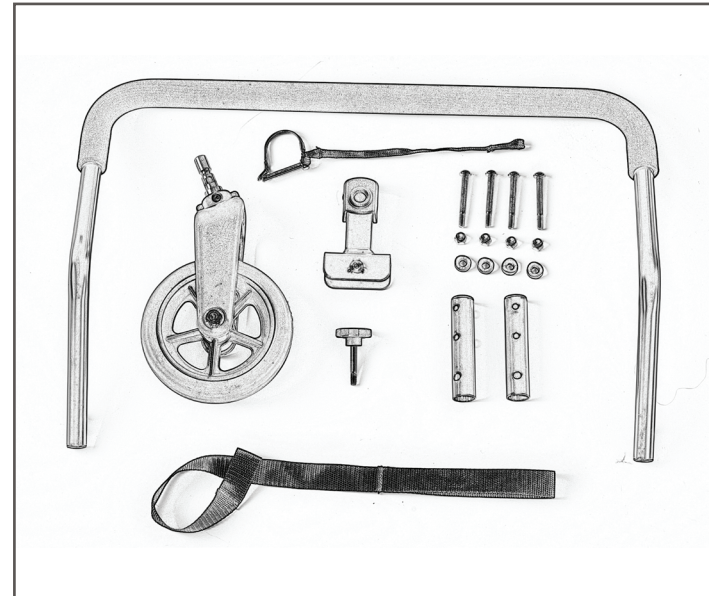


図29

取り付け

1. 組み立てられたトレーラーのフレームを後部フレームに配置し、トレーラーの前面部が上を向くようにしてください。
2. ファブリックを前面クロスバーから外してください。
3. ストローラー・ホイール・マウンティング・ホールを前面フレーム・チューブの中央に配置します(図30)。
4. ホイール・ブラケットをフレーム上でスライドし、ロケータ・ピンがフレーム・チューブの前面の小さな穴に収まるようにしてください(図31)。ブラケットのねじ込みナット・サイドが上部にあるように徹底してください。ブラケットの何も無い穴が底面を向くようにしてください。
5. ねじ込み定着ノブをブラケットの底部の穴に挿入してしっかりと締めます(図32)。

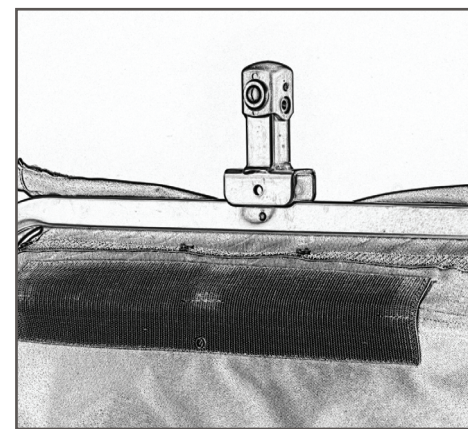


図30

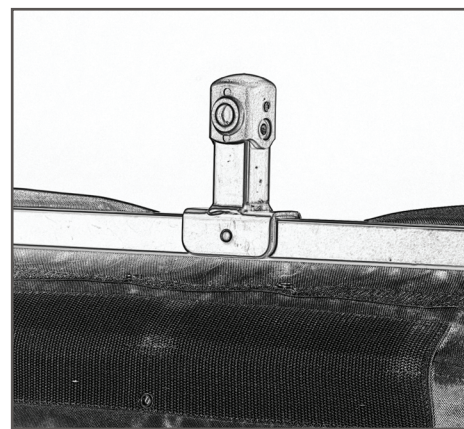


図31

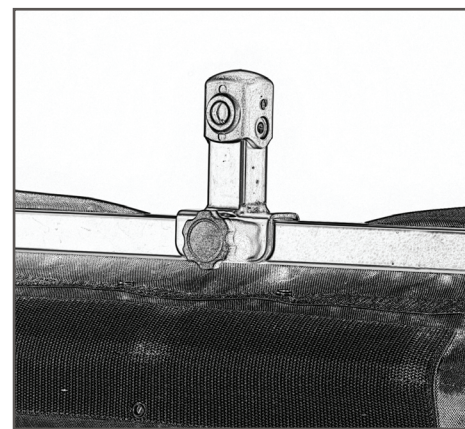


図32

取り付け(続き)

6. フレーム周りにQuick-Release ピンのストラップを巻き付け、ストラップのループに戻ってフレームに固定させてください。
7. 下方トレーラー・ファブリックを前面フレームに取り付け、巻き付けてスナップを固定してください。
8. スイベル・ホイールの車軸をブラケットに挿入してからQuick-Release ピンをブラケットの穴に入れ、Quick-Release ピンを閉じてホイールをロックしてください(図33)。
9. トレーラーを再び真っ直ぐにし、フレームの後部にブラケットを固定するハンドルバーを探してください(図34)。ハンドルバーのスプリング・ピンを押し、スプリング・ピンがパチッと閉まるまで、ハンドルバー・チューブがブラケット内に滑り込むようにしてください(図35)。くっついたり干渉したりしないよう、ハンドルバーの左右両側を同時に挿入してからスプリング・ピンを押し下げるのが効果的です。そうすると、両側が容易に閉まります。取り外すには、ピンを押し下げてハンドルバーを引っ張るだけです。
10. イメージのように、リスト・ストラップをハンドルバーに巻き付けてください(図36)。子供をストローラーに乗せて押す際は、必ず安全リスト・ストラップを使用してください。この特性により、落下や不意の注意散漫時でもトレーラーを制御し続けることが可能になります。

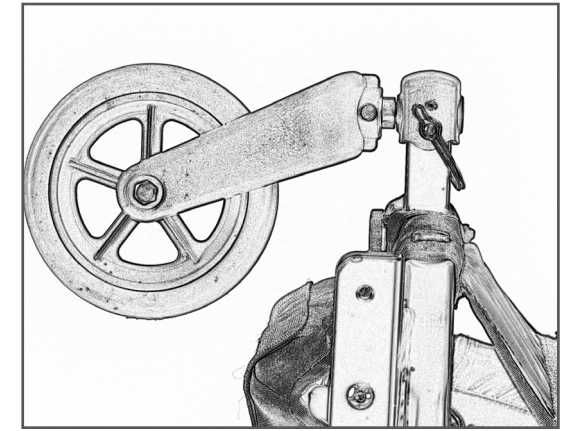


図33



図34

オプションのストローラー・キットの使用

取り付けたら、トレーラーからストローラーへのコンバージョンは数秒で完了します。

1. 固定しているQuick-Release ピンを取り外してトレーラー・アームをリリースしてください。アームをトレーラーの下側に折り畳み、ピンを再調整してアームをフレームの下で保持します。
2. 前面ホイールを前面フレームのブラケットに挿入し、Quick-Release ピンを固定すれば、ホイールの準備完了です。
3. 上述のようにハンドルバーを取り付ければ出発可能です。ハンドルバーですが、バイクでの牽引時、好みでトレーラーに取り付けただままにしておくことができます。



図35

重要: ストローラーの積み込みと積み下ろしの際は必ずパーキングブレーキを使用してください。子供を放置しないでください。必ず安全ハーネスをお使いください。

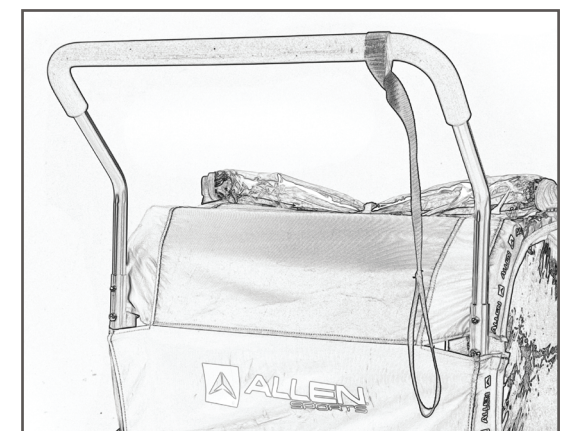


図36

5.1 5ポイント安全ハーネスの使用

1. ラップ・ベルト・バックルを緩め、ショルダー・ストラップとクロッチ・ストラップをD リングから取り外して子供を座らせてください。
2. 子供の膝の上でラップ・ベルトを留め、ベルトがフィットするまで、ストラップを引きます。
3. 2つのセンター・ショルダー・ストラップを子供の両肩の上に置き、ストラップをセンター・クロッチ・ストラップのD リングに取り付けてください。
4. ショルダー・ストラップの高さを子供の身長に合わせて調節し、ぴったりするまでストラップを引いてください。

重要: 重大なケガを防ぐべく、子供は常に安全ベルトおよびショルダー・ストラップを装着する必要があります!クロッチ・ストラップが子供の胸ではなく、お腹の位置に合うように調節してください!

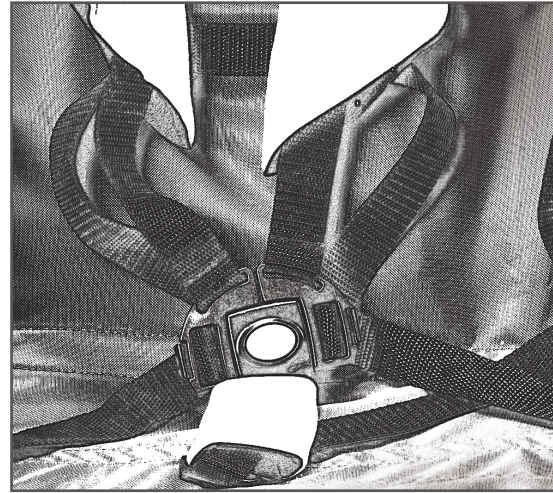


図37

同乗者の下車

子供や貨物をトレーラーから積み下ろす前に、バイシクルを停車して両ホイールのトレーラー・パーキングブレーキをかけてください。続いて、同乗者のコンパートメントのウインドウを開き、安全ハーネスをリリースして同乗者をトレーラーから下車させてください。トレーラーに取り付けられているバイシクルが積載や積み下ろしの際に転覆しないよう注意してください。

5.2 保管および輸送向けの折り畳み

1. 子供や貨物を全て同乗者コンパートメントから降ろしてください。
2. 牽引棒安全ストラップをD リングから取り外し、ピンを外してフレームからヒッチを解除してください。
3. ストラップの端を牽引棒D リングに再び取り付けてください。
4. フラグとポールを取り外してセクションを分離してください。
5. クイック・リリース・ピンを後部ホイールのスタブ車軸から取り外してください。
6. クイック・リリース・ピンをトレーラーの前面コーナーの牽引棒ブラケットから取り外してください。
7. 牽引棒をトレーラーの下で折り畳み、Quick-Release ピンを牽引棒とU チャンネルに付け替えてください
8. ホイールとフラグを同乗者コンパートメントに配置し、前面カバーを閉じてください。
9. イメージのように上部キャビンを折り畳んでください(図38):
 - a. Four-Season Cover の取り外し
 - b. Quick-Release ピンを上部フレームから取り外して両側を引き離してください。
 - c. トレーラーがイメージのように平坦になるまでフレームを平らにします(図39)。

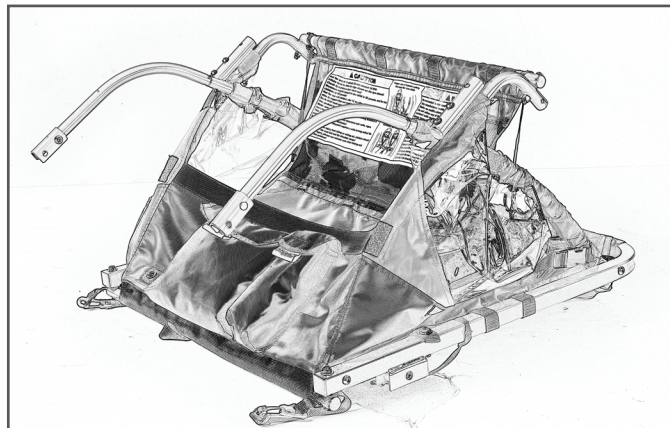


図38

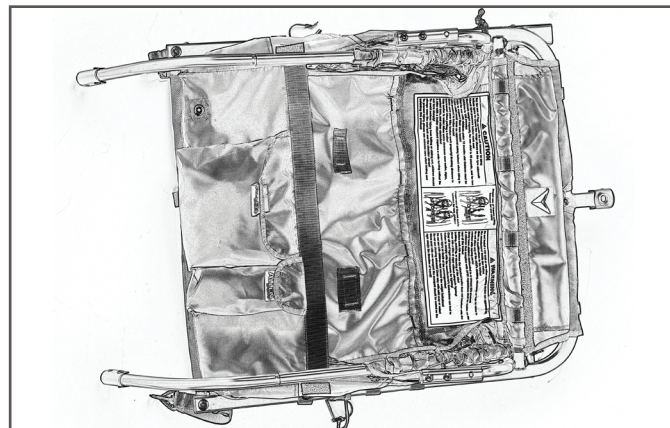


図39

毎回の乗車前に、摩耗や損傷がないかトレーラーを点検してください。タイヤに空気を注入し、タイヤ側面部の所定の正確な空気圧に合わせ、毎回の乗車前に、摩耗や損傷がないか点検してください。空気圧の入れすぎを防ぐべく、手動ポンプを行うことが推奨されます。適切かどうかナットとボルトを確認し、ホイール、フレーム、ヒッチのQuick-Release ピンが固定されているよう徹底してください。年に1回、正規のバイシクル技師にトレーラーを点検してもらってください。トレーラー・ファブリックは中性石けんと水で洗浄でき、自然乾燥させることができます。ファブリックは洗濯機で洗濯できません。

7.保証

保証については、www.allensportsusa.comを確認してください。製品の補修が必要な際は、小売店に持ち込まないでください。

以下にご連絡ください:

ALLEN SPORTS USA

CUSTOMERSERVICE@ALLENRACKS.COM

(800) 722-5536

返品や交換は、製品をお買い上げいただいた小売店の返品ポリシーに従って処理されます。

詳細を確認する

説明動画やオンライン・マニュアル等の詳細については、**ALLEN CARE** (www.allensportsusa.com) にアクセスしてください。



www.allensportsusa.com

R.A. ALLEN CO., INC. - 36 Maplewood Ave., Portsmouth, NH 03801, USA

製品設計: 米国、製造: 寧波 (中国)

詳細は、Allen Care (www.allensportsusa.com) をご覧ください